

令和 2 年度第 1 回知床ヒグマ対策連絡会議の対応状況

○令和 2 年度第 1 回知床ヒグマ対策連絡会議

- ・日 時 令和 2 年 11 月 30 日（月） 9：00～13：45
（人身事故マニュアル机上訓練） 14：15～15：30
- ・場 所 標津町生涯学習センターあすばる 大ホール
- ・出席機関 環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、標津町、知床財団
（人身事故マニュアル机上訓練） 中標津警察署、標津消防署

○結果概要

- 1) 2020 年度第 2 回エゾシカ・ヒグマワーキンググループ会議の資料等について
 - ・管理計画の目標に達する 8 つの目標のうち、すでに 6 つが未達成の状況にある。
 - ・アクションプランの各項目について、内容の整理を次期計画の改変に合わせ、今後調整していく。
 - ・R2 年 3 町におけるヒグマ対策の現状と課題について、3 町とも R1 年から比べ、目撃件数、駆除頭数ともに低い。
 - ・斜里・羅臼ともにごみの不法投棄が、例年よりも多く確認され、誘引された個体も確認されている。不法投棄増加の要因として、コロナの影響により、コンビニ各社のごみ箱が撤去されたことが考えられる。道の駅でも有料のごみ回収を行っているが、浸透していないようだ。今後、対策が求められる。
 - ・ウェブ媒体を活用した情報発信は、SNS の中でもツイッターのシェアが多かった。
 - ・R2 年から、羅臼・標津ともに自身の WEB 上で町内のヒグマ出没情報の提供を始めた。今後、3 町及び北海道のヒグマ情報 WEB との連携も含めて検討していく。
- 2) 斜里町幌別川におけるヒグマ駆除対応事例について
 - ・R2.8.24 に斜里町岩尾別地区において発生したヒグマ対応について、説明があった。
 - ・課題として、①道路や周辺状況から、駆除に関わる各種法令基準との整合性を図るため、警察との調整が思いのほか時間がかかった。また②駆除に至るまでの原因の一つとして、幌別川河口における釣り人の問題について、改めて指摘した。
 - ・②の対策として、R2 年に各関係者が協力して自粛依頼措置を行ったが、地元釣人有志のボランティアに支えられている部分も多くあり、継続した対応につながる対策が課題。
- 3) RT の動向及び羅臼町における対策の実施状況について
 - ・R2 年は、ウトロ地区で RT の痕跡（DNA のみ）が確認されたのみ、羅臼町内での出没はなかったものの、地域住民による草刈り等が行われた。

- 4) 国立公園内のヒグマ出没対応方針の試験的変更の評価
- ・銃を用いた市街地等での対応が厳しくなっていることなどから、過度の道路沿いでヒグマ追い払い対応など、対応スタイルを試験的に変更してきた。
 - ・結果、以前から出没から連絡までに1時間以上経過している通報については、対応してこなかったことなど、大きな変わりはなく、現場での混乱もあまり見受けられなかった。
- 5) 国立公園内のヒグマ出没対応方針に関わる意識調査について
- ・当初、R2年に行うとしていた意識調査は、コロナによりR3年に実施を延期。実施に当たっては、細かい調整は必要なものの、3町とも協力していくこととした。
 - ・前回実施の際、対象者抽出に当たり、個人情報取り扱いが厳しくなったことなどが問題としてあったため、事前の調整に時間がかかると考えられる。
- 6) 知床半島春季ヒグマ人材育成事業の実施について
- ・アクションプランの目標の一つでもある人材育成について、R3年から試験的実施に向けた検討を行う。実施には猟友会等との調整も必要ではあるものの、まずは知床財団とヒグマ情報センターの職員を対象とした対応連携強化を目的として、試験的に実施する方向で今後3町で調整していく。
- 7) 知床ヒグマ連絡会議における事務局の委託について
- ・現在の事務局は各構成団体で交互に担当しているものの、人事異動などによる引継ぎの問題が依然として残る。そこで、実質資料作成や調整に動いている知床財団へ、事務局の一部を委託できないか。
 - ・斜里、羅臼両町と知床財団は、通常の委託業務の中に会議等の準備が含まれているものの、その他の関係団体とは異なる。
 - ・今後の円滑な事務局運営には、ある程度常に内容を把握していることが求められるため、財団への委託も方法としては検討の余地があるものの、予算等課題も残る。
- 8) ヒグマ人身事故発生時の対応方針について
- ・これまでメール等により調整を図ってきた人身事故マニュアルについて、関係者間で承認された。
 - ・この後、中標津警察及び標津消防署を含めたマニュアルの机上訓練が行われ、実際に人身事故が発生したときの流れや関係者間で起こりうる課題や解決方法などを確認することができた。
 - ・次回以降の机上訓練の実施について、関係者間で承諾を得た。